

2026年度 事業計画

2026年度スローガン

変革を楽しみ、 圧倒的な信頼を築く



2026年度から、ソルウェイズは、その年の歩みを方向づける「年度スローガン」を掲げます。私たちが目指すのは、どんなに重い障がいがあっても、生まれ育った地域で自分らしく生きられる社会です。その実現には、一つひとつの実践を積み重ね、変化を恐れず、よりよい支援のあり方を探り続けることが欠かせません。

設立10周年を目前に、職員数は140名を超え、組織として担う役割と責任も大きくなりました。だからこそ、変革を前向きに楽しみ、日々の誠実な仕事を通じて、こどもたちやご家族、地域の皆さまから揺るぎない信頼を築いていきます。

迷ったときに立ち返る共通の指針として、法人名に込めた「太陽・希望（Sol）へ続く道（Ways）」を、これからも一歩ずつ切り拓いていきます。

新規事業「YARITAI-BASE Project」の始動



前年度に取り組んだ「学校卒業後の生活を見据えた準備」を発展させ、2026年度「YARITAI-BASE Project」を新たな事業として本格始動します。どんなに重い障がいであっても、一人ひとりの表情や視線、身体の動き、小さな反応の中にある意思を大切に、その人らしい「やってみたい」を見つけ、育み、カタチにしていけるプロジェクトです。活動の柱は、「好き」が広がる3つのBASE。「ASOBI BASE」では、夢中になれる遊びを通じて好奇心やコミュニケーションを育みます。

「MANABI BASE」では、一人ひとりに合った方法で、生涯にわたる学びを支えます。「WORK BASE」では、「好き」や「得意」を社会とのつながりや、その人らしい役割へと広がります。

企業・学校・大学・地域団体・クリエイターなど、多様な人たちと連携しながら、小さな「やってみたい」から新たな挑戦と未来が生まれる地域をつくります。

「さっぽろこどもホスピス」の実現に向けて

2028年春の新拠点開設を目指し、「さっぽろこどもホスピス」の歩みをさらに進めていきます。重い病気や障がいのあるこどもたちと家族が、安心して遊び、学び、休みながら、その子らしい時間を過ごせる場所を、北海道につくることを目指しています。そこに込めた想いを広く届け、応援してくださる仲間を増やしていきます。

また、こどもたちと家族を支える人材の育成や、開設後を見据えた採用にも力を入れます。医療や福祉、教育、地域の皆さんとつながりながら、こどもと家族が「ここに来てよかった」と思える場所を、一緒につくっていきます。

POINT 2030年に向けた中期計画(2027年)を策定しました！

